



もてなしの心で語る わが街

えな白慢

えな白慢
えな史 43

西行伝説

市内入寂が伝わる歌聖



▲長島町中野にある西行塚

ひと口メモ

東野向島の「杉山の清水」(県の名水100選)は、西行が一口飲んで「実に甘くておいしい」と称賛したとか。以来そのご利益により、枯れることも濁ることもなく、夏は冷たく冬は温かい水が湧き続けている。(ただし飲料水ではないのでご注意ください)

西行は、平安時代の高名な歌人で、「歌聖」と呼ばれる。俗名を佐藤義清^{のりまさ}といい、1118(元永元)年生まれ。新古今和歌集に94首が採録される。妻子を持つ裕福な武士でありながら1140(保延6)年に突然出家し、全国を行脚しながら数々の優れた歌を残した。恵那の地にも多くの伝説が残る。市内には歌を詠む際、この泉で墨を擦ったという「西行硯水^{すずりみず}」(県の名水100選)をはじめ、梅露庵^{ばいろあん}や松林庵^{しょうりんあん}、竹林庵^{ちくりんあん}などゆかりの史跡が点在し、大井町の長国寺^{ちやうこく}と長島町の長栄寺^{ちやうえいじ}には西行の位牌が残されている。長国寺縁起によれば、「西行の死後は遺言通り村人が旧中山道中野坂の傍らに埋葬し、五輪塔を建てた」とあり、これが古くから西行塚と言われ、県の史跡に指定されている。



▲梅露庵公園(長島町永田)

アライダシ自然観察教育林

多種多様の天然美林

えな白慢
えな樹 44



▲根上がりの木(倒木や株の上で成長した木)

ひと口メモ

自然観察教育林とは、国有林の中でも風景の優れている地域にあって、自然休養の場として自然探勝、ハイキング、キャンプ、温泉浴などの利用に適した相当程度の規模を有する地域のこと。レクリエーションの森とも呼ばれる。

上矢作町の北東部、飯田洞川の支流域に位置し、面積はおよそ10㍍、針葉樹林と広葉樹林が混じり、手つかずの美しい森林景観を作り出している。季節風や雪の影響を受けやすい北側にはブナが、それ以外の区域にはモミヤツガなどの針葉樹が、中には25㍍を超すモミの木などが生育する。パンフレットに従って遊歩道を歩くと、ミズナラ、ブナ、サワラ、モミなどからなる見事な天然林や、多くの山野草に接することができる。また、自然科学教育や自然観察ができる自然の森でもある。上矢作振興事務所から暗井沢林道、大船牧場を経由して13㍍。その内1.7㍍ほどは、歩いて行かなければならない。ここは国有林のため、行くときは上矢作振興事務所に入林届を提出し、入林許可を受ける必要がある。



▲共生木(異なる樹木が根元や途中で一体となったもの)

次号は3月15日号
発行日は3月15日(火)です

広報えな No.146
2011年(平成23年)
3月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎26-2111/☎25-6150
<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉info@city.ena.lg.jp

『広報えな』3月1日号、1部当たりの印刷経費は約9.5円(税込み)です。



市安心安全メール配信システム
(登録用QRコード)
市WEB版文字放送システム
(閲覧用QRコード)

口問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

